

TECHNICAL DATA

種 類	カチオン・一材型ポリマーセメント系 下地調整薄塗材 (C-2) (J I S A 6 9 1 6 C-2)
商 品 名	J Sプレミックスカチオン100

改訂版数 :	第6版
--------	-----

DATE : 2023. 4. 1



菊水化学工業株式会社

標準施工仕様書

- 種類：カチオン・一材型ポリマーセメント系下地調整薄塗材（C-2）
- 商品名：JSプレミックスカチオン100
- 用途：①塗替時の仲介接着用
②コンクリート仕上工事用
③クラック・ピンホール・巣穴補修
④陶磁器タイル・吹付タイルの下地改修
- 適用下地：コンクリート・セメントモルタル・コンクリートブロック等
- 部位：内外部壁面
- 工程

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (20℃以上)	所要量
下地調整	JSプレミックスカチオン100 粉体：20kg 清水：5～5.5L	金ごて	1 ↓ 2	1日以上 工程内 1時間以上	約1.56kg/m ² (1mm厚、混練水含む) 約16m ² (1mm厚) 混練比重：約1.56kg/L 練り上り容量：約16L

- 施工上の要点
 - (1) 下地の乾燥は、十分行ってください。
 - (2) 豆板・階打継部・コールドジョイント・大きな亀裂などは、予めポリマーセメントモルタルで補修してください。
 - (3) 大きな目違いは、グラインダー掛け又はポリマーセメントモルタルで予め補修してください。
 - (4) コンクリート面の突起物及びレイタンスは、グラインダー掛け又は皮スキなどで除去してください。
 - (5) 汚れ及び付着物は、ワイヤーブラシ・研磨紙・布等で除去し、必要に応じて水洗いしてください。
 - (6) 下地面が極度に乾燥している場合は適度の水湿しをしてください。
特に、コンクリート面は吸水調整材を塗布し、乾燥させて下さい。（1時間以上、指触で乾燥確認）
 - (7) 塗面に残留する金属（番線・くぎ等）は除去し、エポキシ系防錆塗料で防錆処理してください。
 - (8) 材料は、清水5Lに、粉体20kgを徐々に加え均一に3分以上混ぜ合わせてください。
必要に応じて0～0.5Lの清水で軟度調整してください。
 - (9) 調合後の可使用時間は、1時間以内(20℃)です。
 - (10) 工法は、コテ塗り又はヘラ塗りとし、下地の不陸が大きい時は、初めにすり込むようにして不陸調整を行い、最後に均一な厚さに塗り付けてください。
特に、塗装下地の場合は丹念に平滑に仕上げてください。
 - (11) 標準塗厚は、0.5～3mm厚です。
 - (12) 施工後の養生期間について、20℃で1日間以上としています。低温の場合は更に養生期間を設けてください。また、仕上材が溶剤系の場合は、養生期間を必ず7日間以上としてください。

● 注意事項

- (1) 気温が5℃以下の場合は施工を避けて下さい。
- (2) 強風及び降雨、降雪の場合又はそれらが予想される場合は施工を避けて下さい。
- (3) 材料の粉体は湿気や水掛かりに注意し、保管して下さい。

● その他の注意事項

- (1) 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないようにして下さい。
- (2) 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行って下さい。
- (3) シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染や密着不良を起こすことがあります。

組 成 表

種 類 カチオン・一材型ポリマーセメント系下地調整薄塗材 (C-2)

商 品 名 JSプレミックスカチオン100

荷 姿 JSプレミックスカチオン100 (粉 体) NET 20kg/袋入

組 成

● JSプレミックスカチオン100 (粉 体)

内 容	重 量 (%)
ポルトランドセメント	40 ~ 50
骨材 (珪砂等)	40 ~ 50
再乳化形粉末樹脂 (カチオン・アクリル系)	5 ~ 10
添加剤	5 以下
計	100.0

—以下余白—

性 能 試 験 成 績 書

種 類	カチオン・一材型ポリマーセメント系下地調整薄塗材 (C-2)	
商 品 名	J Sプレミックスカチオン100	
供 試 材 料	J Sプレミックスカチオン100	
試 験 方 法 ①	JIS A 6916 : 2006 (下地調整塗材C-2) に準拠	
項 目	規 定	結 果
軟 度 変 化	-20%~20%	0.0
耐 ひ び 割 れ 性	ひび割れがないこと	合 格
耐 衝 撃 性	ひび割れ及びはがれがないこと	合 格
付 着 強 さ	標準養生	1.0 N/mm ² 以上
	低温養生	0.7 N/mm ² 以上
吸 水 量	1 g以下	0.6
耐 久 性	割れ、膨れ及びはがれがなく、付着強さが 1.0 N/mm ² 以上であること	合 格 1.4
試 験 方 法 ②	異種下地に対する接着試験 (建研法)	
下地の種類	接着強度 (N/mm ²)	破断部位 (%)
磁器質タイル	1.5	材料凝集 : 100
鉄板面	1.5	材料凝集 : 100
アクリル系吹付タイル	1.2	下地凝集 : 50、材料凝集 : 50
<p>※ 結果数値は試験値であり品質保証値ではありません。</p> <p style="text-align: center;">-以下余白-</p>		

一般的な注意事項

《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分に行ない、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

《環境》

- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露、降雨等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が 5℃以下、湿度 85%以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスクングを行ってください。

《保 管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS (安全データシート：旧 MSDS) を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取扱い中は、粉じんがたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようにしてください。